

公共施設等総合管理計画策定への経過と課題

① 笹子トンネル天井板落下事故

(平成24年12月2日山梨県中央自動車道)
 ・施設の老朽化や点検不備などによりトンネルの天井コンクリート板が約130mの区間にわたって落下し、死者9名・負傷者2名を出した事故。

② インフラ長寿命化基本計画の策定

(平成25年11月に国で策定)
 ・公共施設の老朽化対策とし、インフラを管理する省庁や自治体等に対し、インフラ長寿命化に関する行動計画の策定を求めた。

③ 公共施設等総合管理計画の策定要請

(平成26年4月22日総務省自治財政局財務調査課長通知)
 ・地方公共団体が厳しい財政状況の中、人口減少等により公共施設等の利用需要の変化と合わせ、安全対策・長寿命化対策を含めた公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などの総合的な管理計画の策定を地方公共団体に要請。

課題

社会的
 ・公共施設の老朽化対策
 ・人口及び生産年齢者の減
 ・少子高齢化の進展
 ・公共施設の利用の低下

財政的
 ・税等の自主財源の減
 ・投資的経費負担への減
 ・公共施設の更新維持費用の確保

公共施設の改修・
更新費用の課題

地方公共団体で「公共施設等総合管理計画」を策定

公共施設等総合管理計画の概要

平成26年度
第10回庁議資料より

対象施設：全て(特会保有施設含む)の公共施設(=ハコモノ+インフラ(道路、橋梁等)) 【必須項目】

1 公共施設等の現況及び将来の見通し

- (1)老朽化の状況利用状況をはじめとした公共施設等の状況
- (2)総人口や年代別人口についての今後の見通し(30年程度) 【必須項目】
- (3)公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る中長期的な経費の見込みやこれらの経費に充当可能な財源の見込み等

2 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

- (1)計画期間(10年以上) 【必須項目】
- (2)全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策 【必須項目】
- (3)現状や課題に関する基本認識
- (4)公共施設等の管理に関する基本的な考え方 【必須項目】
 - ①点検・診断等の実施方針、②維持管理・修繕・更新等の実施方針、③安全確保の実施方針、④耐震化の実施方針、⑤長寿命化の実施方針、⑥統合や廃止の推進方針、⑦総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針
- (5)フォローアップの実施方針

3 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の策定について
(平成26年4月22日総務省自治財政局財務調査課長通知)

策定支援措置

特別交付税

- 措置額：策定に係る経費の1/2
- 期間：平成26年度～平成28年度

地方債(除却債)

- 計画に基づく公共施設等の除却について地方債(充当率75%)の特例措置を創設
- 市町村建設計画に基づく公共的施設の統合整備事業として行う除却に対しては、合併特例債(充当率95%、普通交付税基準財政需要額算入率70%)も充当可